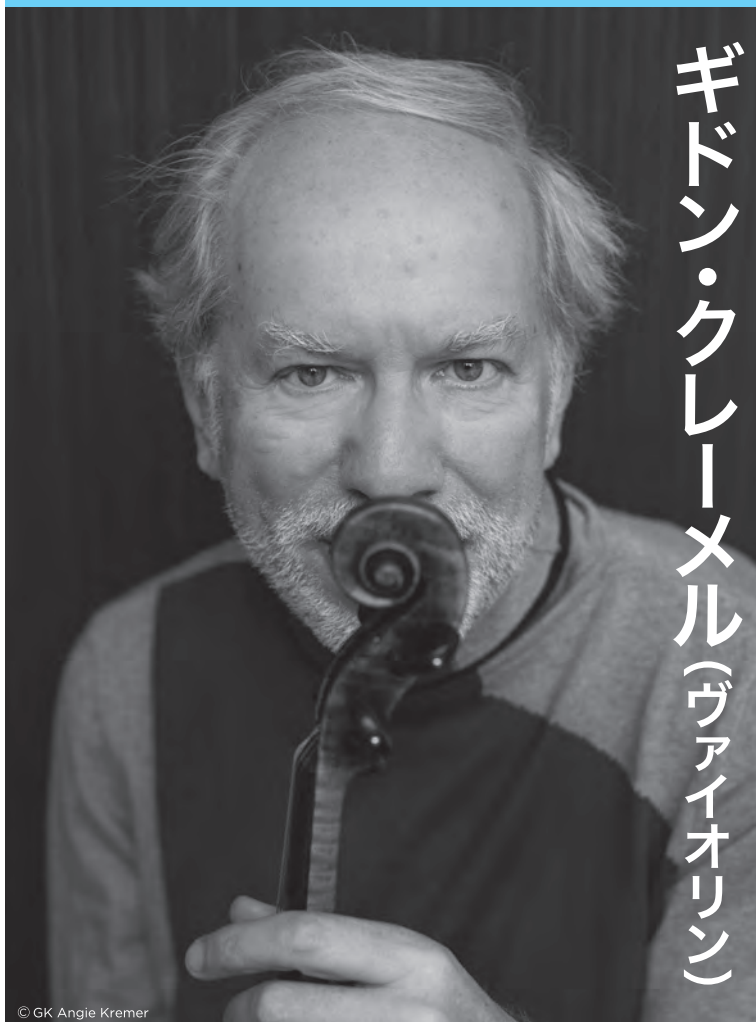




© GK Angie Kremer

マルタ・アルゲリッチ(ピアノ) &  
ギドン・クレマー(ヴァイオリン)



© Y Koseki

# Martha Argerich, *Piano* & Gidon Kremer, *Violin*

## デュオ・リサイタル Duo Recital

2020年 **3/18** (水) 19:00  
サントリーホール

Wednesday, March 18, 2020 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

ヴァインベルク:

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 op. 82

Weinberg: Sonata for Violin Solo No. 1 op. 82

プロコフィエフ:

ヴァイオリン・ソナタ第2番 二長調 op. 94bis

Prokofiev: Violin Sonata No. 2 in D major op. 94bis

ヴァインベルク:

ヴァイオリン・ソナタ第5番 op. 53

Weinberg: Violin Sonata No. 5 op. 53

シューベルト:

ヴァイオリンとピアノのための二重奏曲 イ長調 D574

Schubert: Duo for Violin and Piano in A major D574

\*曲目は変更の可能性もございますので、webなどで随時ご確認ください

料金:

S ¥20,000 A ¥16,000 B ¥12,000 C ¥8,000

# 誰もが待ち望んだ伝説のデュオ、再び！

古くはティボー&コルトーやグリュミオー&ハスキル、少し前のデュメイ&ピリス、現代ならばファウスト&メルニコフだろうか？昔からヴァイオリンとピアノの名手、大家同士によるデュオは多いが、クレメールとアルゲリッチほど、音楽界に衝撃を与え、一世を風靡し、さらにはデュオの在り方に革命すら起こしたコンビはないだろう。伝説のデュオがついに日本へ帰って来る。

この2人のデュオが最初に注目されたのは、1980年代に発売されたベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ集のCD。大評論家、故・吉田秀和が「アルゲリッチが火とすれば、クレメールはさしずめ水の音楽家といえようか。この若武者たちはかつての大家たちをも一気に押しのけてしまった・・・若武者などというのが滑稽なくらい」といった言葉を寄せていたが、これはまさしく空前のデュオの登場で、1987年にはコンビ初来日を果たした。調和を尊ぶデュオ、個性をぶつけ合うデュオと大別したら、彼らは明らかに後者であり、名人同士が必ずしも良き結果を生むとは限らないが、炎のようなテンペラメントで躍動するアルゲリッチと、知的直観で音楽の深みへと切り込んでいくクレメールという天才同士が激しくぶつかりながらも、それがより一層高い次元へと昇華し、そこで信じられないほどの調和を実現した。それは私たちが持っている楽曲のイメージを根こそぎ変えてしまうくらい。あの「クロイツェル」の熱狂を忘れられる者がいるだろうか？天才はスタンダードをアップデートさせるのだ。

それぞれの来日は多くても、デュオとしては26年ぶりとなる東京公演。アルゲリッチは平和を希求する活動に、クレメールは歴史の陰に埋もれる優れた作曲家の紹介に熱中（今回取り上げるポーランドのヴァインベルクもその一人）する今、ますますの高みへ立つ2人のコラボレーションは如何に？



マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)  
Martha Argerich, *Piano*

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。1965年にショパン国際コンクールで優勝し、以来、世界最高のピアニストの一人として、現代に至るまで指折りの見事な芸術活動を行っている。超一流のオーケストラ、指揮者、音楽祭などから頻繁に招かれ、室内楽にも招かれている。名盤として知られる録音も数多い。1998年から別府アルゲリッチ音楽祭の総監督を務め、2002年からはルガーノ・フェスティバル「マルタ・アルゲリッチ・プロジェクト」を、2018年からはハンブルクで新しくアルゲリッチ・フェスティバルを開催して親しいソリスト達と出演を続けている。2015年から広島響の「平和音楽大使」に就任。フランスの芸術文化勲章オフィシエや、日本の旭日中綬章など、受賞や叙勲も多い。



ギドン・クレメール(ヴァイオリン)  
Gidon Kremer, *Violin*

ラトヴィアのリガ出身。現地の音楽学校で学んだあと、モスクワ音楽院でD.オイストラフに師事し、バガニーニ国際コンクールやチャイコフスキー国際コンクールで優勝している。現代最高のヴァイオリニストの一人として、レパートリーはバロックから現代曲まで広範にわたり、特に自身の出身地であるバルト三国から東欧の作曲家による作品の発掘や演奏に熱意を傾け、多くの作品を献呈されている。1997年にはバルト三国の有能な若い音楽家の育成を目的としてクレメラータ・バルティカを設立した。現在はポーランドのヴァインベルクの作品演奏に力を注いでいる。アルゲリッチとのデュオの名盤を含む120枚を超えるアルバムを制作し、多くの賞を受賞。2016年には高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。

## 現代のカリスマ、アルゲリッチ

アルゲリッチとフレンズたちによる白熱のライブ、集大成



マルタ・アルゲリッチ  
ヘルガーノ・レコーディングズ 2002-2016

ヴァインベルク：ヴァイオリン・ソナタ第5番（公演予定曲目）  
【共演】ギドン・クレメール（ヴァイオリン）、

他 ソロ、室内楽、協奏曲多数収録

22枚組 9029.594897 オープン価格 輸入盤



イム・ドンヒョク&マルタ・アルゲリッチ／  
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、交響的舞曲

9029.545551 オープン価格 輸入盤

## ECM NEW SERIES



### 公演予定曲収録！

ヴァインベルク：交響曲第10番 他

CD1

1. 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番 作品126
2. 三重奏曲 作品48
3. ソナチネ 作品46

CD2

1. 小協奏曲 作品42
2. 交響曲 第10番 作品98

クレメール (Vn)、グリシン (Va)、  
ディルヴァウスカイト (Vc)、トリフォノフ (Pf)、  
クレメラータ・バルティカ  
録音：2012年、2013年

CD 直輸入盤仕様 2枚組 UCCE-7532/3  
定価：¥4,800+消費税 発売：ユニバーサルミュージック

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

[www.kajimotoeplus.com](http://www.kajimotoeplus.com)

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)  
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス会員限定先行受付：  
10/30(水)12:00~11/3(日)18:00

先行受付専用番号

TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

ミュージックプラント

検索

[www.mplant.co.jp](http://www.mplant.co.jp)

ミュージックプラント 03-3466-2258

ミュージックプラント会員限定先行受付：  
10/30(水)12:00~11/6(水)18:00  
ミュージックプラント 03-3466-2258  
(事前に会員登録が必要です。土・日・祝日除く10:00~18:00)

チケットぴあ  
0570-02-9999(Pコード: 167-673)  
e+(イープラス)  
<http://eplus.jp/>  
サントリーホールチケットセンター  
0570-55-0017

一般発売：11/7(木)10:00~

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。  
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。